



鹿児島県 大口市「曾木の滝」

# 電気のふるさと

電源地域ニュース

C O N T E N T S

## ● Key Person..... 2

石川県 志賀町 町長  
細川 義雄

## ● 特集 電源地域のサクセスストーリー..... 4

平成17年度 電源地域産業育成支援事業活用事例  
新しい特産品の開発でまちを活性化  
W特産パワー「伊佐の焼酎豚」誕生  
鹿児島県 大口市

## ● いきいき 電源地域..... 10

地域振興に取り組んでいる電源地域の元気な姿を紹介します  
静岡県 掛川市  
鹿児島県 薩摩川内市  
宮城県 亘理町

## ● センター掲示板..... 12

- 平成18年度 研修のご案内..... 12
- 平成18年度 エネルギープラザ開催のお知らせ..... 12
- 電気のふるさと 産品自慢..... 13
  - はかりめ井(穴子料理) 千葉県 富津市
  - ブルーベリー日本一?! 広島県 大崎上島町
- 「電気のふるさと」のバックナンバーがご覧いただけます..... 14
- Vol.3読者の声から..... 14
- 読者プレゼント..... 14
- 人事往来..... 15
- 編集後記..... 15

### 電源地域探訪 ～表紙のことば～

加賀から能登へ向かう街道沿いに位置し、南北に長い志賀町。海沿いを駆けると、どこまでも続く美しい砂浜に心癒され、日本海の荒波が創り出した神秘的な絶景に勇気づけられます。また、海にまつわる物語、自然にまつわる神話が数多く語り継がれており、時を超えた歴史に触れることもできます。

山と海に囲まれた志賀町は、味覚の宝庫であるとともに、リゾート地としての顔も持っており、能登のやさしい風土を堪能できるまちとして多くの人々の心を引きつけています。

表紙：志賀原子力発電所(北陸電力、原子力) 総出力：189万8千kW  
営業運転開始：平成5年7月(1号機)、平成18年3月(2号機)

## Key Person



石川県 志賀町 町長  
細川 義雄

志賀原子力発電所2号機は平成五年五月に旧志賀町、旧富来町等に対し、建設及び環境調査の申し入れが行われ、その後、環境調査の実施や電源開発調整審議会にて2号機増設計画の承認を経て、平成十一年八月に着工し、平成十八年三月十五日に営業運転を開始しました。1号機が昭和四十二年の計画発表以来二十数年来のたいへんな紆余曲折を経てようやく平成五年七月に営業運転開始に漕ぎ着けたことを思えば、2号機は当初の計画通り順調に営業運転開始を迎えることが出来ました。このことは志賀町議会をはじめ町民各位のご理解と北陸電力株式会社をはじめとする関係事業者の絶え間ない努力の賜であると深く敬意を表しております。

現志賀町は平成十七年九月一日に旧志賀町と旧富来町とで合併し、新「志賀町」として誕生した町であり、能登半島中央部の外浦海岸に位置しております。豊かな自然に恵まれ、海岸線には、奇岩、怪石や白砂青松の能登金剛といった美しい景勝地が見られるとともに、ゴルフ場やテニスコート、宿泊施設等が集合している志賀の郷リゾート地など多様な観光資源を抱えています。歴史は古く、古代には渤海国との

交流があったとされ、藩政期には、福浦港は北前船の西廻り航路の北陸唯一の寄港地として栄え、日本最古の木造灯台である旧福浦灯台が今も残っているほか、八朔祭りなどの伝統行事や太鼓が伝承されています。志賀町の産業は、古くから農業や漁業が基幹産業であり、特産品としては、魚介類、ころ柿、赤土スイカ、葉タバコなどがあります。第一次産業人口割合は年々減少傾向にあります。工業は、かつて繊維工業が主力でしたが、現在は能登中核工業団地への企業誘致などにより、電気機械を中心に製造品出荷額を伸ばし、第二次産業人口割合も増加しています。商業は、国道249号沿道に郊外型商業施設が進出し、中心市街地の商店街は空洞化が進んでいます。町全体の年間商品販売額は横這い傾向にあります。観光は、まちの主要産業のひとつで、能登観光の主要拠点である能登金剛や志賀の郷、世界一長いベンチ、キャンプ場や海水浴場など、多様な資源を有し、滞在型の観光を目指しています。

志賀原子力発電所の立地による電源三法交付金は、こうした町の産業の振興にも貢献しており、三法交付

金施設としては地下千五百メートルから湧き出る温泉や温水プールを備えた「アクアパーク シ・オン」や日本海から潮風を受けてそびえたつピラミッド型の外観が特徴の宿泊施設「シーサイドヴィラ渤海」、さらには志賀原子力発電所の温排水の一部を施設の熱源に活用した南欧風のテーマ館「花のミュージアム フロアリー」等があり、いずれも町内外からご利用を頂き、たいへん好評となっております。

当町においては、新志賀町として「夢・未来の創造 笑顔あふれる能登ふれあいの郷」との将来像を画いており、能登地域の拠点都市、交流の場として未来へ向けて発展し、全ての住民が安心して暮らし、高度情報化社会等にも対応して若者が住み続けたいと思えるような、魅力的で笑顔があふれるまちを目指しています。現在は、その将来像を具現化するための新たな総合計画を策定中であります。

原子力発電所立地による町民の期待はたいへん大きいものがございますが、国・地方の行財政の三位一体改革が進展する中では、我々も一層の改革を進めて二十一世紀に飛躍する魅力のある、活力のある町づくりを行って参りたいと思っております。